

# 春の全国火災予防運動

平成19年度統一標語

『火は見てるあなたが離れるその時を』

3月1日から7日までの7日間、「春の全国火災予防運動」が全国一斉に行われ、火災予防を広く呼びかけました。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、住民一人ひとりの防火意識の一層の普及を図ることなどを目的として、毎年この時期に実施されています。

この運動期間中、消防館分署では飯館村や消防関係機関等と協力し、防火パレードや住宅防火診断、防火指導などの行事を実施してきました。

## 3/1 防火パレード

消防関係者など約50人が参加し、車両24台による防火パレードを実施して、住

宅火災予防や山火事防止を広く村内に呼びかけました。



▲防火パレードのようす

## 3/4 消防訓練

特別養護老人ホーム「いたてホーム」と飯館分署合同で、消防訓練を実施しました。

訓練には、ホーム職員20人と入所者20人が参加し、ホーム職員による119番通報訓練や初期消火訓練、

入所者の避難誘導訓練などのほか、到着した消防隊による消火・救助・救急訓練を実施しました。

参加者たちは、有事に備え真剣な表情で各訓練に臨んでいました。



▲入所者を避難誘導するホーム職員

## 3/5 火の用心ゲートボール大会

村ゲートボール協会（大東正男会長）と飯館分署共催の「火の用心ゲートボール大会」を草野地区の「ふれあい交流館たてやま」で開催。

大会には村内の8チーム約60人が出場し、火の用心を誓いながら熱戦を繰り広げました。

【大会結果】優勝・花塚、準優勝・小宮、第3位・関沢、第4位・宮内



▲大会を制した花塚チーム

## 3/6 一人暮らし高齢者世帯に対し住宅用火災警報器を設置

飯館村民生児童委員協議会（石井延真会長）と飯館分署が合同で、高齢者の安全対策を図ることを目的に、村内の一人暮らし高齢者家庭24世帯に対して防火訪問を行いました。

このうち5世帯には、相

馬地方防火安全協会飯館支部（木幡俊雄支部長）の協力により、住宅用火災警報器を各世帯の寝室に設置しました。



▲住宅用火災警報器を設置する分署職員

春を迎え、農作業を始める準備として、これから田のあぜや土手の枯草焼きをする方も多いと思いますが、春先は突風がふくことが多く、小さな火から突然燃え広がることもありま

す。野火火災にならないよう十分に注意して行ってください。

○お問合わせ  
南相馬消防署飯館分署  
(☎42-0119)